

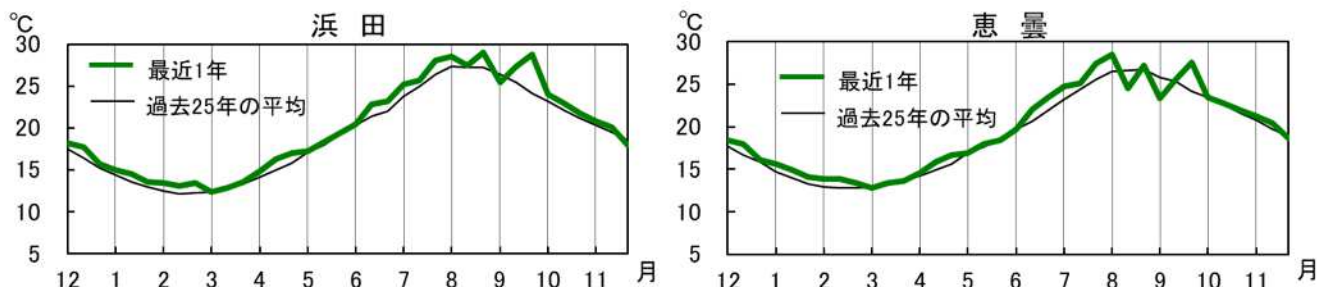


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《11月の海況》



11月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	19.5℃	+0.2℃	やや高め	19.8℃	+0.3℃
中旬	やや高め			やや高め		
下旬	やや低め			平年並み		



《11月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の4割、サバ類は平年の4割でした。隠岐地区ではマアジ、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は53.5トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは1,536トンで平年の2.5倍となった他、マイワシは1,086トンで平年の1.4倍、ウルメイワシは1,106トンで平年の19倍となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)での漁獲はケンサキイカが主体となり、1隻1航海当りの漁獲量は27.2kgで平年並みとなりました。西郷地区(属人5トン以上)での漁獲はありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマダラ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類を主体に、1統1航海当りの漁獲量は11.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マダラは平年の1.7倍、ソウハチは平年の1.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍でした。その他、ヤリイカは平年の2.2倍、マダイは平年の1.4倍と好調でしたが、ヤナギムシガレイは平年の1.0倍、キダイおよびアンコウ類は平年の7割、アカムツは平年の6割、ムシガレイは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ヤリイカ、ニギス主体の漁況で、総漁獲量は269トンでした。1統1航海当りの漁獲量は949kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の8割、ヤリイカは平年の1.5倍、ニギスは平年の1.7倍でした。その他、スルメイカは平年の9割、マダラは平年の8割、アナゴ・ハモ類、キダイ、ムシガレイおよびヤナギムシガレイは平年の7割、アンコウ類は平年の4割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、サワラ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.1倍、サワラ類は平年の5割でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は25.7トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の2.7倍、マアジは平年の1.1倍でした。隠岐地区ではウルメイワシ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ウルメイワシが平年の1.1倍、イサキが平年の1.0倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は38.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の2.5倍でした。石見地区ではクロマグロ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は25.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の1.4倍でした。隠岐地区では、クロマグロ、メダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33.2kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の1.0倍、メダイは平年の14.5倍でした。

【令和6年11月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マアジ、マイワシ	3,635 トン	256%	153%	53.5 トン	203%	199%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.4 トン	22%	36%	27.2kg	70%	105%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	マダラ、ソウハチ、アナゴ・ハモ類	250 トン	105%	86%	11.9 トン	90%	70%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ヤリイカ、ニギス	269 トン	104%	73%	949 kg	99%	95%
定置網 (大型)	出雲	サバ類、サワラ類	257 トン	67%	75%	19.7 トン	67%	74%
	石見	サバ類、マアジ	103 トン	193%	125%	25.7 トン	145%	113%
	隠岐	ウルメイワシ、イサキ	13.3 トン	158%	46%	4.4 トン	158%	46%
釣り・縄	出雲	クロマグロ	36.4 トン	137%	111%	38.3kg	133%	131%
	石見	クロマグロ	27.2 トン	117%	83%	25.4kg	96%	101%
	隠岐	クロマグロ、メダイ	28.2 トン	181%	105%	33.2kg	145%	130%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ